

科目名 日常生活援助論Ⅱ	授業担当者 渡部 絵美	所属 中通高等看護学院	
開講時期:前期～中期	単位数:1 単位	時間数:30 時間	
授業の目的 対象の理解と看護実践の基礎となる技術を習得する。			
授業の概要 疾病の予防や回復・健康増進のためには、快適な環境が必要である。快適な環境は、患者の病状の安定、治療効果の発揮、闘病意欲の向上の面から極めて重要である。人間にとっての清潔の意義と衣服の意義を学ぶ。また、疾病や障害、加齢、治療上の制約などにより、自身で身体の清潔を保つことが困難な状況にある方たちへの援助方法を学ぶ。健康障害により、基本的欲求が満たせなくなることも多い。排泄の介助は、対象にとって羞恥心を伴うものであり、自立と個別性を重視する技術である。演習を通し、対象の心理を考え患者の立場に立った細かな配慮ができるようになってほしい。			
受講上の注意・事前学習の内容 各講義を受ける前に、Learning Bowlに挙げている技術動画を視聴してから臨むこと。 演習に参加するためには事前に技術ノートを作成。必要物品を把握し、必ず技術練習をしてから臨むこと。 演習においては身だしなみを整え臨むこと。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	身体の清潔を援助する技術（清拭・更衣）	講義	
2	清拭・更衣	演習	
3	清拭・更衣	演習	
4	身体の清潔を援助する技術（洗髪・口腔ケア）	講義	
5	洗髪・口腔ケアの実際	演習	
6	洗髪・口腔ケアの実際	演習	
7	排泄を促す技術	講義	
8	浣腸の意義	講義	
9	浣腸・摘便の実際	演習	
10	浣腸・摘便の実際	演習	
11	陰部洗浄・オムツ交換	シミュレーション演習	
12	陰部洗浄・オムツ交換	シミュレーション演習	
13	導尿の意義・管理	講義	
14	持続的導尿の実際	演習	
15	持続的導尿の実際	演習	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 ブックライブラリー 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院 ブックライブラリー 導尿・浣腸・敵便ができる 医学書院			
参考書・指定図書 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア 看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験、提出課題、演習態度、技術習得の状況を総合して評価する。			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります